

専門サービス部会長報告

1. 会議名 **専門サービス部会交流会**
2. 日時 **2024年12月10日（火） 17:00～19:30**
3. 場所 **イヤタカ**
4. 出席者 **部会員等 14名**
5. 懇談

テーマ① **「2024シーズン報告とJ1に向けた歩みについて」**

ゲスト① **(株)ブラウブリッツ秋田代表取締役社長 岩瀬浩介氏**

テーマ② **「バスで秋田を元気に～2026年B7プレミアの展望～」**

ゲスト② **秋田ノーザンヒールズ(株) 代表取締役社長 水野勇氣氏**

6. **交流・懇談会**

■ 2024シーズンの成績

J2昇格以降、**過去最高順位「10位」**
今シーズンの平均入場者数は、過去最多の
4,128人となり前年比132%。**2年連続
130%を超えている。**

■ 地域密着で地域の活力を

「地域に親しまれる」をコンセプトにしたクラブハウスが今年9月に潟
上市に完成。**トレーニングジムやコインランドリー、子ども食堂などを運
営**している。

また、**選手らによる学校訪問事業や食農教育**への取り組み、**幼稚園の園
庭の芝生化、企業版ふるさと納税**などを実施した。

■ アウェイツーリズムでの経済効果①

今シーズンは**県外から9,770人が来場**した。アウェイゲームの観戦を
きっかけとした観光振興を目指しており、駅前商業施設からも**賑わいが増え
ているとの声**が寄せられている。



■アウェイツーリズムでの経済効果②

所属選手が過去に在籍していたチーム時代からのファンが、県外から来秋する。市内の宿泊施設だけでは対応が困難であることから、**全県に宿泊・観光の波及効果が見られる。**

チームの15周年記念事業ではシーズン最多来場者数の7,467人を記録。これに伴い、ご協力いただいたキッチンカーをはじめとした**出店業者の年間の総売り上げも約5,500万円**と過去最高水準となった。

■新スタジアムの整備に向けて

リーグ独自の**満足度調査によると、設備以外の満足度はJ2で2位。**しかし、現施設の**トイレやバリアフリー環境の評価が極めて低く、最下位。**

県外の**新スタジアム整備による来場者増の効果が平均153%**であることから、現状の設備で6,000人の来場を目標としている。これにより、**新スタジアム初年度から9,000人の来場者数を達成し、これまでの経済効果等を持続・発展させたい。**

■ 昨シーズンの成績

2023 - 24シーズンは**30勝30敗**で**東地区5位**（B1：24クラブ中14位）。**平均来場者数は4,342名**と**クラブ史上最多**となった。

今シーズンは12/10現在、18試合で10勝8敗 東地区4位。



■ 2026年 新バスケットリーグ Bプレミア発足

2026年に新しいリーグが発足する。「**B.LEAGUE PREMIER**」「**B.LEAGUE ONE**」「**B.LEAGUE NEXT**」の3部構成。

我々が目指す「**B.LEAGUE PREMIER**」（**Bプレミア**）は昇降格がなく、アメリカのNBAやメジャーリーグと同じ方式になる。更に、**サラリーキャップ**（全選手契約年俸の総額に上限を設ける）の導入やドラフト制度の採用により、リーグ全体の戦力均衡が保たれるようになるため、我々を含む**多くのチームに優勝のチャンス**がある。

BプレミアはNBAに次ぐ世界2位の規模のリーグを目指している。

■ Bプレミア参入に向けて

Bプレミア参入には「平均入場者人数4,000人以上」「売上高12億円以上」「収容人数5,000人以上のホームアリーナ」の3つの要件がある。

2年間この要件をクリアするためにクラブとして取組んだ結果、**ホームアリーナ以外の要件はクリア**した。

■ 今後の動向

10月に実施された1～3次審査において、すでに22チームの参入が決定。秋田ノーザンハピネッツは12月の審査で参入が決定する予定であったが、**新県立体育館の事業者の入札が不調に終わり現在に至る。**

現在も、**参入に向けてリーグと交渉を重ねている。**知事を訪問したBリーグの島田チェアマンも、「**県議会で増額予算の可決や再入札の公告が確認できれば参入の可能性はかなり高い**」と話している。

我々もできる限りの活動は今後も進めていくとともに、チームとしてチャンピオンシップ出場を目標（勝利数38勝）に取り組んでいる。